

平成29年度第1回岡山市女性活躍推進協議会要旨

- 1 日 時 平成29年6月28日(水) 午後3時～午後4時30分
- 2 場 所 岡山市役所議会棟3階 第1会議室
- 3 出席委員 寺本座長、須々木副座長、江田委員、加藤委員、北川委員、木村委員、中山委員、藤井委員、田淵様(細羽委員代理)、山田委員
- 4 出席職員 小野市民協働局統括審議監
(女性が輝くまちづくり推進課) 逢澤審議監、奥野参事、石原課長代理、高村主査、
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事
 - (1) J A岡山女性部の女性活躍についての考え方や取組について
 - (2) 平成29年度事業の進捗状況について
 - (3) 岡山市女性活躍推進協議会での連携について
 - (4) その他
- 7 配布資料
 - 資料1 岡山市女性活躍推進協議会委員名簿
 - 資料2 平成29年度女性活躍推進に関する取組・事業
- 8 会議の状況
 - 議題1 J A岡山女性部の女性活躍についての考え方や取組について

J Aを母体として、各支部が20支部あり、平成12年7月から合併により誕生した組織である。玉野市、瀬戸内市、岡山市が合併して活動している。部員数は3600人で減少しているが、各支部で、活動の輪が広がっている。農家の人だけではなく、小学生に田植えの経験をさせる田んぼの学校もしている。女性の社会的、経済的地位向上を図るため、岡山市に協力していただき、年1回男女共同参画に取り組んでいる。

今年の活動では、「J A女性 踏み出す勇氣 学ぼう伝えよう 地域とともに」という実践課題を目標に頑張っている。45歳までの若いお母さんに食育について訴えたり、若い人たちの交流会を行ったりなど、若い人の輪が少しずつ広がっている。そのほか、次を担う人を育てたり、後継者を増やしたりなどの取組を行っている。

議題2 平成29年度事業の進捗状況について

【岡山市】

岡山市の取組・事業はほとんど昨年度と同じ内容となっている。まず一つ目は、女性の活躍を進める情報発信事業で、女性活躍推進のシンポジウムと座談会を開催し、その様子を新聞紙面に掲載する事業である。二つ目はワーク・ライフ・バランス啓発及び企業紹介事業だが、これはパンフレットの作成で、今年度は、企業の紹介に併せて経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性やメリットについての内容を加えて作成する。三つ目は、市内企業で働く女性活躍プログラムで、女性社員を対象としたキャリアアップセミナーを3回連続開催し、最後に女性社員の上司を対象とした女性のキャリアアップを理解してもらおうセミナーを1回開催する。四つ目は男性管理職セミナー開催事業で、経営トップや管理職を対象としたセミナー1回講座を4回開催する。

【損害保険ジャパン日本興亜(株)】

女性の活躍を経営戦略の大きな柱にしている。女性の幹部職員を増やそうと強力に取組を行っている。その中でまず一つ目が、女性幹部職候補育成で、2020年までに、全管理職に占める女性の割合を30%以上にする取組を行っている。候補となる女性に対して管理職になる人向けの研修を用意し、また、女性社員同士のネットワーク構築を支援しながら取組を行っている。また、若手や中間職向けの様々な研修プログラムを提供している。それから、産休育休者の支援でスムーズに職場復帰ができるようセミナーを行っている。産休育休者だけでなく、その管理職もセミナーを受講し、どうしたらスムーズに職場復帰できるか、育休中に何をしたらいいかなどを学ぶ取組も行っている。また、異業種交流ということで、他社の人とネットワークの構築をめざして、交流会やセミナーなどを行いたいと考えている。それから今後迎える大介護時代に向けて、女性がどのように働いていけばよいのかを考えるきっかけとなるよう組合と連携して介護セミナーを実施している。

【JA岡山女性部】

平成15年度から毎年、「男女が共に築き合う地域社会づくり」を目指し、男女共同参画のつどいを実施している。今年度も西大寺支部で1月25日に実施予定。それから、年に1回クッキングフェスタという旬の野菜を使った料理教室を秋に開催している。

【連合岡山】

各構成組織から女性の役員を選出し、女性委員会を作っている。この女性委員会では男女平等参画推進をしっかりとやっていくという取組を進めている。12月の男女平等参画推進会議で1年間の方針を決定をし、また活動についても決定している。男女平等参画は、男女が共に働きやすく暮らしやすい社会を作っていこうということで、女性の活躍推進、参加を求めている。連合岡山でも、男性の役員が多く、女性の意見が出てこないため、女性の役員を最低1名配置していこうという目標を2017年までに立てている。その後、2020年までに3割、各種会議の女性の参加率も3割を目指している。

その他、かがやきセミナー、集会、スキルアップ講座や全国統一の取組である6月の男女平等月間にパートナーシップフォーラム、全国一斉集中労働相談ダイヤル、街宣活動などを全国的に展開している。年間を通じて女性活躍推進の取組を進めている。

【岡山県】

ママの多様な働き方応援事業は昨年引き続き実施する。結婚や出産期に離職する女性が多いことから、子育て中、子育て後の女性の就労に向けて支援を行うコンシェルジュを設置し、相談の対応を行うとともに、就労支援の後押しとなるセミナーを合計10回行い、パパ向けも岡山で1回開催する。多様な働き方に理解があり、女性の採用に意欲のある企業との出会いの場を提供するイベントも実施する。次に今年度の新規事業として取り組む働く女性のネットワーク構築事業では、女性が働き続けることができる環境づくりに向けて、「管理職」「子育て中」「新卒」などのカテゴリーで集まり、同じ立場、環境の女性同士で意見交換を行い、課題解決のきっかけづくりにつながる場を提供する。情報提供のための講演とワークショップを開催する予定。最後は、女性創業サポートセンターで、これは創業を目指す女性の相談窓口であり、ウイズセンター内に設置している。その他、関係部局と連携して、ワーク・ライフ・バランスの取組を行い、女性が活躍できる環境を整備していく。

【NPO法人ばらママ】

岡山市内には、働きたくても働けない女性が、私たちが出生率から計算すると2万5千人いるが、その人たちの背中を押して社会に出て働くことなしには、女性活躍推進は進まないという思いでやっている。私たち自身が経験しているので、それを全面に出して、岡山県の事業である相談、セミナー、合同企業説明会を、私たちならではのアイデアで、昨年とは違った内容で提案している。実際にマタハラを受けても、会社に何も言わない人もいる。そういう人の声

を吸い上げて、背中を押して、一步踏み出せたらいいなと思っている。岡山市の再就職支援事業でも同じように、眠った人材を発掘するという事でセミナーを開催する。もう一步手前の、働きたいけれど大丈夫か不安に思っている人たちのための事業である。再就職の活動につながる人が何人でたかを数値目標にしてやっていく。あこがれパパプロジェクトは県事業の独自提案事業で、パパに女性活躍に興味を持ってもらい、自分でできることを気づいてもらうものである。こんなことがイクメンになるということを知ってもらうフリーペーパーとセミナーを行う。最後のばらママサロンは3、4年続けているが、毎月1回開催している。様々な道具を使ったり、ワークショップをしたりすることで、働き続けられるようにサポートしている。女性が「働く」ことをキーワードに集まる会である。

【中国銀行】

女性が活躍していくうえで、男性上司の意識改革がポイントであると考えている。支店長の多くが男性であるので、支店長と女性のリーダーが対話する勉強会を地域ごとで行っている。支店長と女性リーダーが本音を言い合うことで、お互いが思っていることのギャップを認識し、そのギャップを仕事にどのように活かしていくか考え、意識改革につながる勉強会を行っている。二つ目の女性活躍推進ワーキンググループは、決定権を持つ地位には男性ばかりであるため、発言する機会を与えるために平成26年から行っている。第1期生は人事施策に関する提言、第2期生は営業施策に関する提言を行った。今後も継続して行っていく。最後のロールモデルの紹介では、身近にロールモデルとなる人がいないという声に対応するため、行内報でさまざまなロールモデルを紹介している。

【労働局】

働き方改革の実行計画が3月28日に策定され、岡山労働局もその計画に沿って方針を決めている。働き方改革の中で女性の活躍推進に力を入れている。

岡山労働局の取組としては、まず、雇用環境・均等担当部署の重点施策がある。政・労・使が協議する「おかやま働き方改革会議」を秋に開催する。それから、女性活躍推進の行動計画の届出は現在100%、次世代育成支援対策の行動計画の届出は99%となっているが、どちらも100%維持を目指して指導していく。それと合わせて、えるぼし認定、くるみん認定の制度を使いながら機運の醸成を図っている。それから、女性活躍の重要な法律基盤である、雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法の違反があれば、指導し、相談も受けている。妊娠出産に関する相談は昨年度150件あり、半分は退職に関係する相談であり、相談対応は重要だと考えている。9～12月はハラスメント防止の特別相談窓口を設置し、重点的に相談を受けている。女性はパートなど期限が決められている雇用者が多いが、有期契約を更新し、5年を超えると希望により、無期契約に転換しないといけないというルール作りができていて、平成30年4月から転換の申し込みをする権利が発生する。現在、事業主、労働者にこの無期転換ルールの周知を徹底している。また、労働基準監督署に総合労働相談窓口を設け、労働に関する相談を一括して受けている。

また、マザーズハローワークでは、子育て中の女性の就労を支援する事業を行っている。雇用環境均等室、労働基準部、職業安定部が連携し、女性活躍に向けて取り組んでいく。

【岡山商工会議所】

平成29年度から、生産性向上、働き方改革について取り組んでいく。岡山県商工会議所連合会としては、サービス産業の生産性向上、IT化の促進の取組を行っている。働き方改革も検討しながらやっていく。

女性の採用と管理職登用についてだが、現在、課長職7名中女性課長が3名となっている。それから、経営者で構成された様々な委員会があるが、その中の「中小企業振興委員会」で働き方改革の検討を行っていく。これは29年度からの取組である。最後に、女性活躍推進の調査研究ということで、女性経営者で構成された「岡山商工会議所女性会」があるが、会員が80人ぐらいで、今年度から、女性活躍の調査研究を行っていく。

【就実大学】

教員も職員も女性の割合が半分ぐらいなので、ハラスメントがあるという話もほとんど聞かない。最近学部を増やしていて、組織の規模が大きくなっているが、間接部門の人が増えていない。女性活躍よりワークライフバランスを重視している。有給休暇より振替休日を消化することで精一杯という状況であるため、ワークライフバランスを進めていくためにはどんなことを考えたらいいかという研修を考えている。就実学園の中にこども園があるが、学園からこども園に0歳児の受け入れを増やしてほしいという要望があり、来年度以降受け入れを増やすことを目指している。

議題3 岡山市女性活躍推進協議会での連携について

【岡山市】

10月25日に未来ホールで開催する女性活躍推進シンポジウムに、より多くの企業に参加していただけるよう、呼びかけをお願いしたい。

昨年度第3回の協議会で、昨年度作成したパンフレットのデータを皆様にお渡しして、HPにリンクを貼っていただいたり、団体内で紹介していただけたらというお願いしていたが、本日、データをお渡しするのでご協力をお願いしたい。男性管理職セミナーや女性活躍プログラムについても、いろいろな企業に働きかけていただき、受講する企業を増やしたいと思っている。

【労働局】

9月1日と6日に、働き方改革のセミナーを岡山県と連携して開催する。法改正についてと働き方改革を考えるセミナーを行う。10月25日のシンポジウムのチラシが間に合えば会場の後ろに置いたり、封入したりできる。その他必要な資料があれば、配布は可能である。

議題4 その他

次回は来年2月の開催予定。日程調整のうえ、決まり次第連絡する。